

食の安全安心・地域への情報発信

愛知県JAあいち知多の取り組み

これからの農業指導の方向

消費者や未経験農家だつて、一人前の生産者に育ててしまおう、そんな「野望」を胸に、電子や映像や印刷の情報を駆使しながら、挑戦を重ねているJAがある。それが、組合員四万七〇〇〇人の巨大JA・JAあいち知多(本部・愛知県常滑市)だ。

◆素人でも理解できる栽培講習会

を対象にした栽培講習会を開催した。集まったのはU・ターンした若手や定去る九月一日、JAあ

年退職者、あるいはイチジク栽培に関心を持つ組合員イチジク栽培を試みたい人など一五人。

作業ビデオクリップ。図は、整枝剪定の位置や切り方についての解説。ビデオで映示されるので判り易い。繰り返し再生や静止表示なども手軽にできる。



▲「いちじく栽培ごよみ」2年樹以上版月ごとの主な作業、病虫害、注意点が収録されている。ビデオマークボタンをクリックすると、作業解説のビデオが映示される。病虫害やその他の作業をクリックすると、ポップアップ式に解説文を見ることができ



講習ではまず、同JA営農経済部が制作したビデオ「いちじく栽培ガイド」を上映し、栽培の全体イメージを説明。その後、畑づくりや定植など今後直面する月ごとの作業や、施肥・病害虫対策に関しての解説にパソコンを使った。このとき活用したのがデジタル版「いちじく栽培ごよみ」(「1年樹」と「2年樹以上

の二種類。受託制作・農文協)である。

この講習会を担当した芳山広域果樹指導担当マネージャーは、

「受講者はイチジクに関心しては全くの素人ですが、まずビデオで栽培全体イメージを持ってもらい、その上で具体的な作業の説明では、月毎の作業や注意点をこの栽培ごよみで説明したんです。まずイチジクに関心を持ってもらいたい」と、JAあいち知多の取り組みについて話している。

◆市民に向けたテレビチャンネルを持つ

知多エリアは難視聴地域が多い。そうした地域環境の中、JAあいち知多はケーブルテレビ局開設(経営は第三セクター方式)に取り組む。現在四社の筆頭株主となっている。資本参加している残り二つのケーブルテレビ会社を合わせれば、直線距離四五キロにも及ぶ五市五町の広い管内が、高速回線網(光ケーブル)で結ばれていく。

テレビ放送に取り組むと、組合員のみならず広く管内市民への情報チャンネルを持つことである。JAあいち知多は、ケーブルテレビを通じて情報提供、とりわけ農業振興の一環としての農業映像情報の提供に取り組んできた。

「いちじく栽培ごよみ」の最大の特徴はビデオクリップがついていることだ。営農指導員が制作していた栽培ビデオをデジタル映像化し、月ごとの主な作業を十数秒のシーンに分け、栽培ごよみに埋め込んでいく。もちろんデジタル映像だから、再生、静止表示も簡単。何より、見た作業のシーンだけを繰り返し見ることができ、初心者でも個々の作業の具体的なイメージを持ちやすい。しかも、栽培という年間の作業を俯瞰し病虫害対策や肥料・資材の基本情報を網羅する資料に、作業イメージを理解でき

るビデオクリップを組み合わせたことで、イチジク栽培の全体像と勘所が見え、理解できる最適な学習ツールになっている。

JAあいち知多では、イチジク栽培ごよみをJAインターネットに格納し、営業情報提供とともに、JAセンターにあればいつでも閲覧できる環境ができていく。更に、栽培ごよみにアクセスするインターネットページには、本格的な農業技術データベース「営農・生活情報システム」(制作提供・農文協)も格納され、初心者からプロ農家までの、多様な相談や情報ニーズに対応できる情報環境が整備されているのである。

「知多の農業」は、組合員にはその月の作業のポイントについて、住民には、農業への関心を高めるという点で、更には、JA職員が、JAあいち知多の映像に対する感度を高めたいという点でも意味がある。地域への情報発信という点で、ケーブルテレビは非常に有効なメディアです。その重要性は今後ますます高まると思っています。

自主制作の映像作品は五本にのぼり、JAあいち知多の管内にも及ぶ五市五町の広い管内が、高速回線網(光ケーブル)で結ばれていく。

テレビ放送に取り組むと、組合員のみならず広く管内市民への情報チャンネルを持つことである。JAあいち知多は、ケーブルテレビを通じて情報提供、とりわけ農業振興の一環としての農業映像情報の提供に取り組んできた。

「いちじく栽培ごよみ」の最大の特徴はビデオクリップがついていることだ。営農指導員が制作していた栽培ビデオをデジタル映像化し、月ごとの主な作業を十数秒のシーンに分け、栽培ごよみに埋め込んでいく。もちろんデジタル映像だから、再生、静止表示も簡単。何より、見た作業のシーンだけを繰り返し見ることができ、初心者でも個々の作業の具体的なイメージを持ちやすい。しかも、栽培という年間の作業を俯瞰し病虫害対策や肥料・資材の基本情報を網羅する資料に、作業イメージを理解でき

習や料理、介護など、計二五作品(総計六四〇分)の映像作品を準備した。これを通して、視聴者からの要望に応えるべくエッセイチャンネルを通じて提供してきた。

こうした既存作品での農情情報提供とともに、JAあいち知多では、JAあいち知多の映像制作スタッフの取り組み、「知多の農業」シリーズとして管内主要作物の栽培技術映像を月二本の割合で制作し、JA番組が農・生活情報システムで配信して来たのである。

情報ネット事業やケーブルテレビとの交渉担当として取り組んできた情報課の大岩課長は、

「知多の農業」は、組合員にはその月の作業のポイントについて、住民には、農業への関心を高めるという点で、更には、JA職員が、JAあいち知多の映像に対する感度を高めたいという点でも意味がある。地域への情報発信という点で、ケーブルテレビは非常に有効なメディアです。その重要性は今後ますます高まると思っています。

自主制作の映像作品は五本にのぼり、JAあいち知多の管内にも及ぶ五市五町の広い管内が、高速回線網(光ケーブル)で結ばれていく。

テレビ放送に取り組むと、組合員のみならず広く管内市民への情報チャンネルを持つことである。JAあいち知多は、ケーブルテレビを通じて情報提供、とりわけ農業振興の一環としての農業映像情報の提供に取り組んできた。

「いちじく栽培ごよみ」の最大の特徴はビデオクリップがついていることだ。営農指導員が制作していた栽培ビデオをデジタル映像化し、月ごとの主な作業を十数秒のシーンに分け、栽培ごよみに埋め込んでいく。もちろんデジタル映像だから、再生、静止表示も簡単。何より、見た作業のシーンだけを繰り返し見ることができ、初心者でも個々の作業の具体的なイメージを持ちやすい。しかも、栽培という年間の作業を俯瞰し病虫害対策や肥料・資材の基本情報を網羅する資料に、作業イメージを理解でき

るビデオクリップを組み合わせたことで、イチジク栽培の全体像と勘所が見え、理解できる最適な学習ツールになっている。

JAあいち知多では、イチジク栽培ごよみをJAインターネットに格納し、営業情報提供とともに、JAセンターにあればいつでも閲覧できる環境ができていく。更に、栽培ごよみにアクセスするインターネットページには、本格的な農業技術データベース「営農・生活情報システム」(制作提供・農文協)も格納され、初心者からプロ農家までの、多様な相談や情報ニーズに対応できる情報環境が整備されているのである。

「知多の農業」は、組合員にはその月の作業のポイントについて、住民には、農業への関心を高めるという点で、更には、JA職員が、JAあいち知多の映像に対する感度を高めたいという点でも意味がある。地域への情報発信という点で、ケーブルテレビは非常に有効なメディアです。その重要性は今後ますます高まると思っています。

自主制作の映像作品は五本にのぼり、JAあいち知多の管内にも及ぶ五市五町の広い管内が、高速回線網(光ケーブル)で結ばれていく。

テレビ放送に取り組むと、組合員のみならず広く管内市民への情報チャンネルを持つことである。JAあいち知多は、ケーブルテレビを通じて情報提供、とりわけ農業振興の一環としての農業映像情報の提供に取り組んできた。

「いちじく栽培ごよみ」の最大の特徴はビデオクリップがついていることだ。営農指導員が制作していた栽培ビデオをデジタル映像化し、月ごとの主な作業を十数秒のシーンに分け、栽培ごよみに埋め込んでいく。もちろんデジタル映像だから、再生、静止表示も簡単。何より、見た作業のシーンだけを繰り返し見ることができ、初心者でも個々の作業の具体的なイメージを持ちやすい。しかも、栽培という年間の作業を俯瞰し病虫害対策や肥料・資材の基本情報を網羅する資料に、作業イメージを理解でき

るビデオクリップを組み合わせたことで、イチジク栽培の全体像と勘所が見え、理解できる最適な学習ツールになっている。

JAあいち知多では、イチジク栽培ごよみをJAインターネットに格納し、営業情報提供とともに、JAセンターにあればいつでも閲覧できる環境ができていく。更に、栽培ごよみにアクセスするインターネットページには、本格的な農業技術データベース「営農・生活情報システム」(制作提供・農文協)も格納され、初心者からプロ農家までの、多様な相談や情報ニーズに対応できる情報環境が整備されているのである。

「知多の農業」は、組合員にはその月の作業のポイントについて、住民には、農業への関心を高めるという点で、更には、JA職員が、JAあいち知多の映像に対する感度を高めたいという点でも意味がある。地域への情報発信という点で、ケーブルテレビは非常に有効なメディアです。その重要性は今後ますます高まると思っています。

自主制作の映像作品は五本にのぼり、JAあいち知多の管内にも及ぶ五市五町の広い管内が、高速回線網(光ケーブル)で結ばれていく。

◆多様な講習会を支える広報活動

JAあいち知多が、二一世紀の「食」「農」の拠点として「あがりカレッジ」を設立した。あすなろ舎」を設立した。平成二三年十二月。会議室、OA教室、和室、調理実習室や農業関連図書コーナーなど、開設もさるころから、この中で開かれる多様な定期講座が人気だ。野菜は、市民向けに「園芸栽培コース」(定員三〇名)とセミプロ養成をめ

「知多の農業」は、組合員にはその月の作業のポイントについて、住民には、農業への関心を高めるという点で、更には、JA職員が、JAあいち知多の映像に対する感度を高めたいという点でも意味がある。地域への情報発信という点で、ケーブルテレビは非常に有効なメディアです。その重要性は今後ますます高まると思っています。

自主制作の映像作品は五本にのぼり、JAあいち知多の管内にも及ぶ五市五町の広い管内が、高速回線網(光ケーブル)で結ばれていく。

テレビ放送に取り組むと、組合員のみならず広く管内市民への情報チャンネルを持つことである。JAあいち知多は、ケーブルテレビを通じて情報提供、とりわけ農業振興の一環としての農業映像情報の提供に取り組んできた。

「いちじく栽培ごよみ」の最大の特徴はビデオクリップがついていることだ。営農指導員が制作していた栽培ビデオをデジタル映像化し、月ごとの主な作業を十数秒のシーンに分け、栽培ごよみに埋め込んでいく。もちろんデジタル映像だから、再生、静止表示も簡単。何より、見た作業のシーンだけを繰り返し見ることができ、初心者でも個々の作業の具体的なイメージを持ちやすい。しかも、栽培という年間の作業を俯瞰し病虫害対策や肥料・資材の基本情報を網羅する資料に、作業イメージを理解でき

るビデオクリップを組み合わせたことで、イチジク栽培の全体像と勘所が見え、理解できる最適な学習ツールになっている。

JAあいち知多では、イチジク栽培ごよみをJAインターネットに格納し、営業情報提供とともに、JAセンターにあればいつでも閲覧できる環境ができていく。更に、栽培ごよみにアクセスするインターネットページには、本格的な農業技術データベース「営農・生活情報システム」(制作提供・農文協)も格納され、初心者からプロ農家までの、多様な相談や情報ニーズに対応できる情報環境が整備されているのである。

「知多の農業」は、組合員にはその月の作業のポイントについて、住民には、農業への関心を高めるという点で、更には、JA職員が、JAあいち知多の映像に対する感度を高めたいという点でも意味がある。地域への情報発信という点で、ケーブルテレビは非常に有効なメディアです。その重要性は今後ますます高まると思っています。

自主制作の映像作品は五本にのぼり、JAあいち知多の管内にも及ぶ五市五町の広い管内が、高速回線網(光ケーブル)で結ばれていく。

テレビ放送に取り組むと、組合員のみならず広く管内市民への情報チャンネルを持つことである。JAあいち知多は、ケーブルテレビを通じて情報提供、とりわけ農業振興の一環としての農業映像情報の提供に取り組んできた。

「いちじく栽培ごよみ」の最大の特徴はビデオクリップがついていることだ。営農指導員が制作していた栽培ビデオをデジタル映像化し、月ごとの主な作業を十数秒のシーンに分け、栽培ごよみに埋め込んでいく。もちろんデジタル映像だから、再生、静止表示も簡単。何より、見た作業のシーンだけを繰り返し見ることができ、初心者でも個々の作業の具体的なイメージを持ちやすい。しかも、栽培という年間の作業を俯瞰し病虫害対策や肥料・資材の基本情報を網羅する資料に、作業イメージを理解でき

るビデオクリップを組み合わせたことで、イチジク栽培の全体像と勘所が見え、理解できる最適な学習ツールになっている。

JAあいち知多では、イチジク栽培ごよみをJAインターネットに格納し、営業情報提供とともに、JAセンターにあればいつでも閲覧できる環境ができていく。更に、栽培ごよみにアクセスするインターネットページには、本格的な農業技術データベース「営農・生活情報システム」(制作提供・農文協)も格納され、初心者からプロ農家までの、多様な相談や情報ニーズに対応できる情報環境が整備されているのである。

「知多の農業」は、組合員にはその月の作業のポイントについて、住民には、農業への関心を高めるという点で、更には、JA職員が、JAあいち知多の映像に対する感度を高めたいという点でも意味がある。地域への情報発信という点で、ケーブルテレビは非常に有効なメディアです。その重要性は今後ますます高まると思っています。

自主制作の映像作品は五本にのぼり、JAあいち知多の管内にも及ぶ五市五町の広い管内が、高速回線網(光ケーブル)で結ばれていく。

テレビ放送に取り組むと、組合員のみならず広く管内市民への情報チャンネルを持つことである。JAあいち知多は、ケーブルテレビを通じて情報提供、とりわけ農業振興の一環としての農業映像情報の提供に取り組んできた。

減農薬、体質強化で高品質

新しい土壌診断と施肥設計
武田健著 畜産堆肥で高品質持続的農業を実現。5つのキになる数値による実践的な土壌診断法と施肥設計、良質堆肥のつくり方と利用法を公開。
●2100円

土壌診断の方法と活用
藤原俊六郎・安西徹郎・加藤哲郎著 環境保全と高品質生産の両立にむけた診断の基礎と土壌養液診断、パソコン活用等の最新ノウハウ。
●2960円

ハウスの新しい太陽熱処理法
白木己蔵著 抜群の殺菌・殺虫・殺草効果、秋口作業の省力的改善、低コスト・減肥・環境保全型を実現。
●1500円

新版 土壌肥料用語事典
藤原俊六郎編著 土壌、植物栄養、土壌改良・施肥、肥料・用土、土壌微生物、環境保全、情報関係の用語を網羅。
●2800円

肥料便覧 第5版
伊達昇・塩崎尚郎編著 肥料を21タイプに分け、特性、使い方、銘柄、入手先を紹介。新機能肥料を加え大幅改訂。
●4100円

自然と科学技術シリーズ
清水武著 52種の作物ごとに再現したカラー写真約500枚と発生部位、特徴が一目でわかる図解で診断。
●4620円

光合成細菌で環境保全
小林達治著 土壌肥沃化、水質浄化、悪臭防除、有機物リサイクルに活躍する光合成細菌の生態から利用まで。
●1850円

微生物の農業利用と環境保全
比嘉照夫著 一般市民にも好評。EM農法の提唱者が発酵・合成という新視点から微生物の働きと利用法を解説。
●1850円

土の構造と機能
岡島秀夫著 「土は生きもの」その根本を有機物・微生物でなく、土の粒子と水との関係において説明する。
●2050円

作物と土をつなぐ共生微生物
小川眞著 リン酸吸収の促進、病害抑制など注目を集める菌根菌の生態から、炭利用などその活性化技術まで。
●1630円

根の活力と根圏微生物
小林達治著 根圏微生物の世界という先端科学から、土壌病害虫や連作障害対策、有機物利用を新しい角度で提起。
●1600円

施肥改善シリーズ
VIDEO
土壌診断を中心とする施肥改善を理論と現場で役立てるための知識と実践を解説。生理障害、病害などの背景となる「土の富栄養化」。土壌溶液、イオン、pH、CEC、塩基飽和度、バランスなど、高度で複雑な概念を総合的にわかりやすく解説。
【全5巻】①施肥改善の基礎②土壌診断と施肥設計③施肥改善の実際④土壌診断と施肥設計⑤施肥改善の実際
●揃い52500円